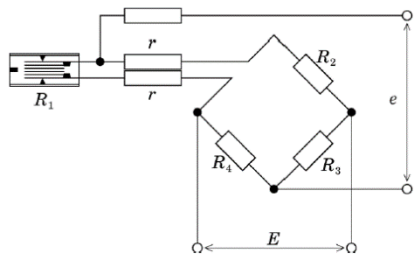
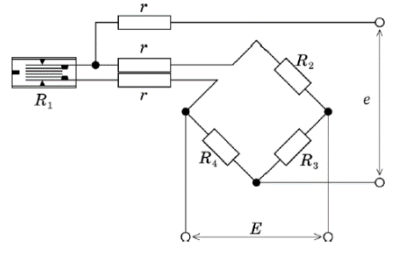
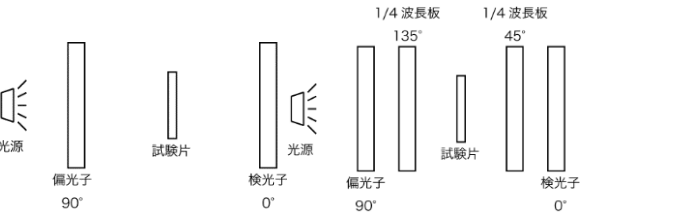
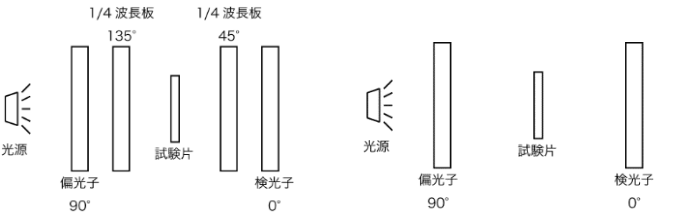


ページ	誤	正
P24 2.9.3 下から6行目	Brger 法	Berger 法
P28 3.2.4 右段3行目	図中の $\Delta\varepsilon_e$ は弾性ひずみ範囲(弾性ひずみ幅)といい、 $\Delta\varepsilon_t$ は全ひずみ範囲 (ひずみ全振幅) と呼ぶ。	図中の $\Delta\varepsilon_e$ は弾性ひずみ範囲(弾性ひずみ <u>全</u> 振幅)とい い、 $\Delta\varepsilon_t$ は全ひずみ範囲 (全ひずみ全振幅) と呼ぶ。
P30 図 3.7	図中の σ	図中の σ を σ_0 に変更し, 上側にも σ_0 を追加する。
P48 図 4.15	リード線抵抗に r 記号なし 	リード線抵抗に r 記号を追記 
P48 (2) 2ゲージ法の最後の文章	リード線の.....2アクティブ 3線法にすれば可能となる。	リード線の.....2アクティブ 3線 <u>式</u> にすれば可能となる。
P117 図 7.1	 <p>(a) 円偏光器</p> <p>(b) 直線偏光器</p>	 <p>(a) 円偏光器</p> <p>(b) 直線偏光器</p>